

科目名	現代の世界と歴史	
担当者	溝上 宏美 / MIZOKAMI, Hiromi	
科目情報	教養科目2群 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	現代世界を形作ってきた第二次世界大戦後から現在までの世界史を概観する。
	到達目標	現代世界で起こっている出来事の歴史的背景について大まかに説明できるようになる。
授業計画	(1) 20世紀とはどんな時代だったかー「短い20世紀」 (2) 冷戦への序章ー第二次世界大戦 (3) パクス・アメリカナの時代ー戦後国際秩序構想と核兵器 (4) ヨーロッパ分断とドイツ問題 (5) パレスチナ問題の起源ーアラブ世界とイスラエル (6) 東アジアの冷戦 (1)ー朝鮮戦争の衝撃 (7) 東アジアの冷戦 (2)ー中華人民共和国と台湾問題 (8) アジアの脱植民地化と第三世界 (9) スターリン批判の影響と平和共存 (10) ベルリンの壁とキューバ危機 (11) 植民地支配が残したものー「アフリカの年」とその後 (12) ベトナム戦争の衝撃 (13) ヨーロッパ統合への道 (14) 「歴史の終わり？」ー冷戦の終結 (15) 地域紛争と「文明の衝突？」ー冷戦後の世界	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業中に紹介された参考文献を読むこと。時折小テストを実施するので、授業ごとに重要事項の復習をしておくこと。
使用教材・参考文献	【教】教科書は使用しない。授業中に配布するプリントを使用する。 【参】田中明彦・中西寛編『新国際政治経済の基礎知識』有斐閣 2004年 ISBN 4641183023、ほか、授業中に適宜紹介する。	
成績評価方法と基準	試験を実施する。現代史に関する基本的な事項と現代社会への影響を理解できているかを評価基準とする。試験60%、受講態度40%とし、受講態度には時折実施する小テストの結果を勘案する。	
備考	定期試験までに読書レポートを提出していない学生は試験を受けることができない。	